Japanese Association of Educational Psychology

人　格　4（420～426）

座長　荒木紀幸・古賀一男

420 急性人格変容の研究（3）
名古屋大学　古　賀　一　男

421 環境と人格形成に関する研究（5）
日本医科大学　藤　岡　新　治

422 児童におけるテスト不安の研究（Ⅳ）
――児童用テスト不安検査項目分析による性差の検討――
兵庫教育大学　荒　木　紀　幸

423 顕現性不安のクラスター分析
日本大学　大　村　政　男

424 対人恐怖症者の自己概念に関する研究――20答法及びエゴグラムを通して――
東京大学　姜　　慧　玲

425 青年期における対人恐怖的心性について（Ⅰ）――自己像との関連から――
京都大学　木　村　法　子

426 中学進学期の児童の意識・態度に関する研究（1）
――新中学1年生の期待と不安――
公文数学研究会　松　岡　　工

420 大村（日大），丸山(日医大)より①人格変容という語の定義について，松岡（公文数研）より②薬物との類似性とは何か，③実験及び実際場面との行動の相違，④生理神経学的な変化の有無について質問があり，それに対して①広域に解釈した意味であること，②軽度の酩酊状態に類似すること，③実験室内での耐性が実際の高所行動に相関するケースのあること，④生理神経学的な立場からは医学的立場よりアプローチが必要であること（苧阪・名大）の回答があった。

421 大村より①「触発的」の意味について質問があり，これに対して，①価値的態度に一応のバランスが存在するのに，刺激如何によっては一方へ盲目的に変容することを指しており，明治初期の秩父事件の説明に当てようとするとの回答がなされた。

422 田畑（名大)から①先行研究との時代差，地域差の関係はどうか，②表―2の第14項目に有意差があるのではないか，藤岡（日医大）より，③小4のテスト不安のピークは，小5，6で進学時期に出易いのではないかの質問が寄せられ，それに対して①地域差はある，時代差もまた地域差に影響しているという形では時代差は存在する，②有意差はあるが全体の中での順位は変らない，③小4の時期は自己概念が発達し，課題も難しくなるため評価事態で必要以上に自己を意識する結果不安が高まるという回答がなされた。

423 丸山より①精神障害者群の内訳について，荒木より②外国人群に対する検査の施行方法について，大坊（山形大）より③サンプルを50名に限定した理由，④クラスター分析はどの手法を用いたのかの質問が寄せられ，これに対して①男女共大多数は神経症であること，その他に少数の心因性反応，分裂病，うつ病，てんかん等を含むこと，その結果クラスターは単一因子によって特徴づけられない，②外国人群にはMAS原版を使用し，日本人には従来の訳を改めて使用した，③サンプル数は電子計算機の容量制限によること，④相関係数をもとにして分析を行ったの答えがあった。

424 長谷川（青学大）より，①全項目を強制回答させたのか，星野（ICU）より②MP項目と文中の記述の関係について，田畑，丸山より③被験者の概略，検査実施時期について，島崎（関大）より④エゴグラムの肯定的記述のみの採用理由，及び文化差の考慮の必要性について，大坊より⑤相関的アプローチの必要性について，大村より⑥対人恐怖症者が我国に多いというデータの有無についての各質問があり，それに対して，①欠落項目は検査への反発反応とした，②MP項目は5つのカテゴリーの中で最高得点だったこと，③被験者は都下の対人恐怖症者の専門治療施設に在籍する者で7月に実施したこと，④今回は肯定的側面のみを検討したこと，文化差は標準化再検討する予定，⑤検討してみたい意志はあること，⑥特にそうは考えていない，しかし臨床的分野からの強い印象はあるがデータはない（木村・京大）の回答が得られた。

425 大村，古賀(名大)より①検査施行の手順，記述内容について，伊藤(名大)より②AP項目の性差の有無，田畑より③青年期心性と対人恐怖心性の相違についての質問があり，①施行はPS, OS, ISの順に行い上・下位群の抽出を簡便法で行ったこと，②性差はなかったこと，③前者は発達過程の一部分であるのに対し後者は更に限定された状況での特徴を指すことの回答がなされた。

426 大村より①自記式留置法とは何か，②地域差が被験者になかったか，③問12，13に差はなかったか，荒木より④学業成績の関係の有無について，古賀より⑤質問項目の被験者への適切性についての質問があり，これに対して，①自分自身で記入するという意味であり，②地域差は存在する，③X^2検定で有意差はなかったこと，④検討予定であるが，進学要因の影響が大きいと考えていること，⑤一考を要する，の回答が得られた。

（荒木紀幸・古賀一男）

NII-Electronic Library Service